

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	プラムしあわせ			
○保護者評価実施期間	2025年11月5日 ~ 2025年11月18日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○従業者評価実施期間	2025年11月5日 ~ 2025年11月18日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月19日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<p>（適切な支援の提供）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもと保護者のニーズを踏まえ、心理検査や行動の記録を図式化し、職員全員で課題を整理した上で、個別支援計画を作成している。 ・保護者より、悩みや心配事に沿った支援計画になっていることや詳細で分かりやすい個別支援計画書になっているとの評価をいただいている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動の記録は毎日の振り返りの中から、気になる情報を入力し、記録の蓄積を図っている。 ・子どもや保護者のニーズ、心理検査の結果等を踏まえ、行動の記録を主に5領域別に整理（図式化）した上で、中心的な課題が何かを話し合う。 ・課題となっている行動の背景や要因を職員間で話し合い、それに応じた支援策を設定するようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、子どもたちの受け入れ人数が増えていくものと考えられるため、効率的に話し合いを進めるための方策を考えていく必要がある。
2	<p>（関係機関や保護者との連携）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。 ・保護者より、連絡帳のほかにも迎えのときにその日の様子を知らせてくれるし、ラインでも写真をこまめに送ってくれている等のコメントいただいている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳や引き渡しのときに情報を共有し、子どもの発達の状況や課題について共通理解を図っている。 ・個別にSNSにて、日頃の活動の様子を写真等を添えてお知らせするようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談の希望調査を継続的に実施し、保護者への相談支援体制を充実させていく。
3	<p>（保護者への説明等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定等の情報を子どもや保護者に対して発信している。 ・保護者より、HPや個別ラインで活動内容を発信してくれているとの評価をいただいている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを活用し、活動予定や概要を子どもたちや保護者に発信している。また、SNSにて、個別に活動の様子を写真で紹介するなど、情報発信に努めている。 ・個別支援計画見直しの話し合いの機会を利用して、保護者にこれまでの活動の様子（写真）をスライドショーで見せる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に、ホームページを更新し、事業所での具体的な取り組みの様子を発信していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<p>（業務改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第三者による外部評価を行うことができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開所してから1年目であり、少しずつ業務が軌道にのってきてている状況であり、まずは、保護者からの評価をしっかりとやっていく必要があると考えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者による外部評価の人選をどのように進めていくか、検討を進めていく。
2	<p>（家族支援）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者や兄弟同士で交流する機会を設ける等の支援ができていない。 ・ペアントトレーニング等、体系的な家族支援プログラムは行っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者評価から、現状において、保護者や兄弟同士の交流を積極的に行いというニーズはあまりないように思われる。 ・相談の受付、希望調査については定期的に実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や兄弟同士の交流については、保護者のニーズを確認しながら進めていく。 ・今後とも、相談支援体制をしっかりと整えていく。 ・子どもたちへのかかわりの仕方や進路相談、関係機関との連携など、個々のニーズに応じた相談支援を行っていく。
3	<p>（地域支援）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ運営施設である「プラムだいすき」との交流はあるが、放課後児童クラブなどとの交流の機会はない。 ・興味をもたれた住民の方に活動の様子を見学していただいたく機会はあったが、限定的であった。地域住民と計画的に交流の機会をもつことはできていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の資源を把握していないことが課題であると考える。 ・どのような交流が子どもたちにとってよいのか、検討できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源としてどのようなものがあるか、また、子どもたちにとってどのような交流がよいのかを整理していく。 ・「プラムだいすき」との交流は、同年代の子どもたちの交流を図るうえでとても貴重な体験の場である。始業式・終業式や休業中に計画的に実施していく。